

「未来の技能者育成事業」体験授業 実施報告書

記入例

報告日

2023年 7月12日

(代表) 報告者

◇◇ ◇◇

案件名 (職種)	2023-xx-xxxx (建築大工)	学校名	△△市立△△小学校
----------	---------------------	-----	-----------

体験授業 (職業講話・製作実演・体験教室) 実績

月	日	時間	受講者人数			指導者人数	特記事項 (必要に応じ記入)
			児童生徒	教員	保護者(参観)		
7	10	13:30~15:30	15	1	5	3	

体験授業 (職業講話・製作実演・体験教室) の概要

職業講話・・・指導者の方からの話

- ・建築大工の仕事内容
- ・建築資材の選定方法 (特に、木材の木目等からどのように切り出されたか判断できることなど)
- ・仕事の喜びと辛さ (発注者の方が自分が手がけた建物を幸せそうに見られるのが一番の喜びであることなど)

体験活動・・・丸太切り、かんながけ、ペン立て製作の各体験

- ・大きな丸太をノコギリで切るのは大変そうだったが、指導者の方からコツを教わって非力な子でも切ることができた。
- ・かんながけでは指導者の方の実演で、薄く均一な紙のような薄さに削るのを間近で見感動していた。
- ・切った丸太にドリルで穴をあけ、サンドペーパーで磨き、スプレーで塗装してペン立てを全員完成でき満足そうであった。

質疑応答

- ・「大工の仕事に就こうと思ったのは何時頃か」～「大工さんは儲かりますか」等、幅広い質問に対して、ユーモアも交えながら全て親切に答えて頂いた。

体験授業 (職業講話・製作実演・体験教室) の感想や教育活動に役立ったこと

- ・マイスターの先生方のお話は、実際の建築現場で、どのような仕事をしているのかを、実際の例を交えて説明頂いたり、実物を見せていただいたり、子供たちはプロの話に興味を持って聞き入っていた。
- ・体験活動では、丸太切り、かんながけ、ドリルによる穴開け等、初めて使う道具・工具に戸惑いながらも、指導者の方から使い方やコツを教えて頂き、上手に扱えるようになると、時間を忘れて積極的に取り組む様子が見られた。
- ・質問時間は、予定した時間では足らなくなる程で、積極的に質問する子どもの姿があった。子どもたちにとって、初めて経験する貴重な体験であると同時に、働くことの尊さを少しは体感できたように感じた。
- ・自分で切った丸太で作ったペン立てを、大切そうに持帰っていった。この日の経験が子供たちの心に刻まれることを期待したい。

実施風景 (写真等を3~4枚貼付け)



※ここに貼り付ける写真は当事業のHPに掲載することがあります。児童生徒の後ろ姿等、本人が特定できない写真、またはHP掲載の許諾が取れている児童生徒の写真にしてください。

教育職の視点で、本日の講義の改善点やお気づきの点

職業講話では指導者の方の体験を交えた、分かり易い説明で、子どもたちにも容易に理解できました。また、実演・体験活動では、それぞれ親切かつ丁寧な説明で、子供達も積極的に体験活動に取り組みました。体験のための資材の準備、3名の指導者の方の役割分担共に、用意周到な講義で、私たち教員としても大変参考になる職業講話・製作実演・体験活動でした。できれば、建設現場の写真などを大型テレビで見せていただくと、更に理解の助けになったと思います。

アンケート：

- 1) この体験授業に児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか(いずれか1つ)
- (○)①大変よく伝わった
- ()②ある程度伝わった
- ()③あまり伝わらなかった
- ()④全く伝わらなかった
- 2) 児童生徒の皆さんが技能者を目指すに当たっての課題と思われることを自由にお書きください。
- 小学校の段階では、将来の職業について考え始める初期段階ですので、いきなり技能者を目指すところまではなかなか結びつかないと思います。まずは、こうした体験授業を通じて、仕事の種類を学習することで職業観を育んだり、仕事の喜びや辛さの実体験を聞くことで労働観を育みたいと思います。